

京都市立京都御池中学校 部活動運営方針

1 部活動のねらい

生徒が自分の興味や関心に応じて自主的自発的に活動する中で、個性を伸ばし、社会性や人間性を育み、顧問や生徒相互の人間関係を育てる等、生徒の心身の健全な育成と責任ある個人としてふさわしい資質を育てることをねらいとする。

2 位置づけ

部活動は学校教育活動の一環として行い、スポーツや文化及び科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等に資するものとする。

3 部の成立

下記の条件をすべて満たすこととし、準備委員会で検討のうえ職員会議で協議し、校長が決定する。

- ① 活動に必要な部員がいること。
- ② 顧問がいること。
- ③ 校内およびそれに準ずる施設に活動場所を確保できること。

4 部員

入部は自由意志により、一人1部とし、3年間続けることを原則とする。

5 運営規定

(1) 活動期間

4月1日から翌年3月31日とする。

(2) 活動時間

平日は長くとも2時間程度、学校の休業日（土曜日、日曜日、祝日、長期休業期間等）は3時間程度を原則とする。

夏期の土日祝日・長期休業に関して、アリーナ、サブアリーナは前半8時00分～11時00分、後半11時00分～14時00分とする。

(3) 完全下校

春・夏・冬時間の規定に従って下記のとおりとする。ただし、長期休業期間中は、下記に関わらず9時00分（7月頃～9月頃は熱中症対策として8時00分）から活動可とし、完全下校は16時00分とする。

(4) 休養日

ア 平日に1日以上、及び土曜日または日曜日に1日以上上の休養日を設ける。休養日の曜日については、各部の規定により定める。

イ 大会等により、土曜日または日曜日の休養日に活動した場合は、休養日を他の日に振り替える。

(5) 活動休止

下記の期間は、原則として活動を休止する。その他、学校行事、学校体制、気象条件等により、活動を休止する場合がある。

- ① 定期試験の1週間前から試験終了までの期間。
- ② 8月中旬及び年末年始の学校閉鎖期間。

(6) 活動計画

各部活動ごとに年間及び毎月ごとの活動計画を作成し、顧問から保護者に配布する。

(7) 部費等

部活動運営に必要な経費として部員から部費を徴収する場合は、1ヶ月300円までを上限とし、あらかじめ保護者に説明するとともに、年度ごとに保護者に対して会計報告を行う。

(8) その他

夏期の部活動時のハンディファンや塩分チャージタブレットの使用に関しては、顧問が使用時間やルールを設けることとする。